



きりんぐみだより

3月号



社会福祉法人尚徳福祉会生麦保育園

少しずつ風が暖かくなり、春の訪れを感じるようになって来ました。虫や花を見つけたり、そう組が植えたチューリップの成長を見る度に、子ども達も季節の移り変わりを感じているようです。

もう少しでそう組になるという意識が出て来て、お当番を今まで以上に張り切って行い、お当番ではなくても自分から率先してお手伝いをしています。また、自分の意見をはっきり言えるようになり、喧嘩になっても相手の言葉に耳を傾けようとする姿も見られます。ルールのある遊びを楽しむようになり、身体面、精神面共に大きく成長した1年でした。きりん組での生活も残り1ヵ月です。毎日楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。



節分&恵方巻き

2月3日は節分。保育園では2月1日に節分を行いました。数日前から「鬼来るかな?」「みんなでやっつけよう!」「怖いなあ…」とドキドキ過ごしていたきりん組。入口に柵を貼り、豆を準備していると突然赤鬼と青鬼登場! 怖がる子もいましたが、「鬼は外一! 福は内一!」と自分の中の意地悪鬼、泣き虫鬼など様々な鬼と一緒に退治する事ができました。

翌週は恵方巻き作り。インフルエンザ拡大防止のため、残念ながら大きな恵方巻きを作る事はできませんでしたが、自分で海苔にご飯や具を乗せて巻いて小さな恵方巻きを作り、みんなで東北東を向いて願いを込めて静かに美味しくいただきました。恵方巻き以外のおかずも東北東を向いて静かに食べている姿が可愛らしかったです。



人形劇

保護者会開催の人形劇がありました。当日はバイオリン、ホルン、ピアノ等の楽器で様々な曲を演奏していただいたり、大型絵本を読んでいただきました。ドラえもん等子ども達に親しみのある曲もたくさんあり、一緒に歌って楽しそうでした。

人形が登場すると、少しドキドキした様子で見ると、触ろうとする子がいましたが、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

先日はお忙しい中、クラス懇談会にご参加いただきありがとうございました。保護者の皆様と一緒に子ども達の成長を喜び合う事ができ、有意義な時間が過ごせました。

1年間、きりん組の子ども達と毎日一緒に過ごし、成長を近くで感じる事ができ、とても楽しい毎日でした。運動会、お楽しみ会など大きな行事を経験する度に自信をつけ、どんどんたくましい姿を見せてくれるようになりました。これからの成長が益々楽しみです。1年間ありがとうございました。

